

平成29年度 第1回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録（確定稿）

- 開催日時：平成29年5月9日（火）18時30分～20時30分
- 開催場所：田無総合福祉センター4階 第3会議室
- 出席委員：大高則明、小野修平、富澤佳代子、野崎信行、渡辺裕一
<以上5名、敬称略、五十音順>

- 資料 1：運営委員名簿
- 資料 2：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則
- 資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員選出要領
- 資料 4：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会傍聴要領
- 資料 5：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(平成29年3～4月)
- 資料 6：コーディネート状況等月次報告（平成29年3～4月）
- 資料 7：ボランティアコーディネート実績（平成29年3～4月）
- 資料 8：災害ボランティア講演会 アンケート集計結果
- 資料 9：こどものADHDについて（多様性の理解講座） アンケート集計結果
- 資料10：平成28年度事業報告
- 資料11：平成29年度西東京ボランティア・市民活動センター予定表（5～6月）
- 資料12：2016年度第6回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録（未定稿）
- 資料13：2016年度第6回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録（未定稿）
- 資料14：平成29年度事業計画
- 資料15：平成29年度西東京ボランティア・市民活動センター事業・事務執行計画
- 資料16：平成29年度西東京ボランティア・市民活動センター係 事務役割分担表
- 資料別冊：2016年度第5回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>
- 資料別紙：ぼらんていあ倶楽部第96号

1. 委 嘱 状 交 付

- (1). 委嘱状交付
- (2). 自己紹介（資料1）
*委嘱状の交付と自己紹介を行う。

2. 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会について

- (1). 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則について（資料2）
- (2). 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員選出要領について（資料3）
- (3). 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会傍聴要領について（資料4）
*以上の3つの規則、要領について、事務局より説明をする。

3. 委員長・副委員長選出

- (1). 委員長・副委員長選出
*委員長に渡辺裕一委員、副委員長に小野修平委員が選任される。

4. 報 告 事 項

- (1). 業務報告(平成29年3月・4月)について（資料5～7）

- ・平成 28 年 6 月から相談件数の集計方法が変わった件について詳しく教えてほしい。
→複雑な内容の相談のみを集計してきたが、平成 28 年 6 月より簡便な電話相談や窓口対応を含め、対応したものを全て集計し、数値として見えていなかった業務を見える化した。
- ・ボランティア登録の「一般」と「特技」の違いは何か。
→「一般」は活動の内容が幅広く様々な活動ができる方が入っている。「特技」はボランティアが持っている技術（楽器演奏など）を生かした活動をしたいという方が入っている。
- ・「相談件数」と「紹介件数」の違いは何か。
→「相談件数」はその月に入った相談の件数。「紹介件数」は、その月に紹介できた件数。翌月に紹介されれば、翌月に紹介件数が加算される。
- ・昨年度のボランティア保険事故の件数や内容がわかれば、注意喚起や啓蒙ができる。身近な市内の保険事故に関して詳しくわかるだろうか。
→保険会社へ直接請求してもらうため、センターにはほぼ連絡が入らない。保険会社からも事故の件数や内容については連絡はないが、全体の状況については説明会で話しがある。

(2). 災害ボランティア講演会の実施報告について(資料 8)

- ・「災害ボランティア講演会」という名称が敷居を高くしている。「災害時に自分たちができることを考える講演会」など、名称を工夫する必要がある。
- ・参加人数が少なかったということだが、例年と比較して少ないということか。
→昨年度は声掛けをしたところが多く、参加者数も 70 名を想定した。したがって、例年と比較したのではなく、想定と比較して少ないということである。
- ・実際に講演会を企画・実施する中で、より工夫したら良かったと思ったことはあったか。
→つながりたい団体、関係者だけに案内をしたので、広く募集をかければ良かったという声をいただいている。今年度以降検討する必要があると考えている。
- ・つながりたい人や団体とつながれなかったことが学びである。違う方法を考える必要がある。
- ・参加者が減少しているのは、災害が風化していることも影響しているのだろう。

(3). こどもの ADHD について(多様性の理解講座)の実施報告について(資料 9)

- ・ADHDでもいろいろあり、関わり方は難しいが、ボランティアに支援に入ってもらえるとありがたい。ただ、公共の場に入ってもらうとなると、さまざまな家庭状況があるので、親が不安や心配になってしまうこともあり、公的な立場からはお願いし辛い状況がある。
- ・保護者の会からの要請でこの講座が企画されたのか。
→実際に活動している登録ボランティアの声で企画した。
- ・この案内を出すときに、近隣の P T A に配布を検討したか。
→今回は、ボランティアのスキルアップを目的としたものなので、対象が限定された。
- ・関心を持っている方の勉強の場として提供できたら良い。
- ・このような講座を受けてボランティアがスキルアップし、グループができると良い。

(4). 平成 28 年度西東京ボランティア・市民活動センター事業報告(資料 10)

* 報告のみで、意見はなし。

(5). 業務予定(平成 29 年 5 月・6 月)について(資料 11)

- ・夏！体験ボランティアの受け入れの間口を広げていく工夫をどのように考えているか。
→小学生低学年が参加できる新たな活動メニューを提供できるようリストアップ、働きかけ

をしている。環境系の活動も新たに追加をするために打診をする予定でもある。広報に関しては、昨年度同様、副校長先生にチラシ配布を直接依頼していく予定。

5. 審 議 事 項

(1). 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の会議録の作成について（資料 12・13）

*事務局より、要点記録への変更について提案をし、承認される。

(2). 2016 年度第 6 回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録(未定稿) について (資料 13)

*確定稿とすることについて承認される。

6. 協 議 事 項

(1). 平成 29 年度事業について（資料 14～16）

- ・ 前任期より、ボラセンのあり方、運営委員会のあり方などを議論してきた。新しい委員にもどのような議論があったかを共有したいので、次回の会議に資料を作って提示してほしい。
- ・ この事業計画は、地域福祉活動計画との関係で作られている計画でもある。社会福祉協議会の中でボラセンが果たす役割が見えてくると思われる。
- ・ 傾聴ボランティアは 8 期まで実施したが、活動を継続しているグループは 4 つほどである。連絡会の形成を依頼していたが、昨年それができ、傾聴ボランティアとして市民への受け渡しができるようになった。さらに広めていくため、一緒になって考えていけたら良い。
- ・ 人を呼ぶということに対しては、何か方法を考えていってほしい。
- ・ 計画になっているものをいかに効果的に実施するかも問われている。
- ・ 社協内のいくつかの部署にボランティアを養成する仕組みができあがってきているが、組織的に検討されていない。そのような課題に対して、昨年度は福祉活動推進課内の 3 係合同で、横断的にボランティア講座を実施したが、今年度はどのように位置づけられているか。
→今年度は、地域福祉推進系の事業として、広報に関する講座を行う予定である。さまざまな団体が広報をどうやって打ち出していくかを学ぶ予定である。
- ・ 社協のさまざまな部署に関わっていると、自分の立ち位置がわからなくなる。また、会議も多くなり、活動も難しくなる。詳しく聞かないと社協のどの部署に関わっているかわからない。何とかならないだろうかと思う。
- ・ ボランティア登録用紙を共有できないだろうか、共通様式ができないだろうかという提案も過去にあった。

7. そ の 他

(1). 次回運営委員会開催日程について

■開催日時：平成 29 年 7 月 11 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分

■開催場所：田無総合福祉センター 4 階 第 3 会議室

(2). その他

- ・ 正副委員長打ち合わせを偶数月に開催することとなる。
 - ・ 運営委員はボランティア保険（天災 B プラン）に加入手続き済みであることを報告する。
- 以上をもって平成 29 年度第 1 回運営委員会の審議、協議を終了し、閉会した。